

# 再生計画：住民の手で 松枯れ進む 名勝「津田の松原」

---



池田泰太郎

岩下彩聖

小松千尋

長島由莉

# 発表の流れ



- ◆ 1、記事の紹介
- ◆ 2、問題点、現状把握
- ◆ 3、政策提言
  - ◆ 概要（間伐と伐倒について）
  - ◆ 間伐の費用試算
  - ◆ 伐倒の費用試算
  - ◆ メリット・デメリット

# 新聞記事



## ◆ 再生計画、住民の手で 松枯れ進む名勝「津田の松原」 19日に報告会 ／香川県

日本の白砂青松100選に選ばれている、さぬき市の名勝「津田の松原」を守り、次の世代に伝えようと、地元住民が活動している。これまでに専門家の協力を得て、松枯れなどで衰退しつつあることを確かめ、再生計画をまとめた。活動の輪を広げるため、19日に報告会を開く。

この住民は、元市議の鶴身正さん(77)。小さい頃は約3千本が生い茂る松林で遊んだ。最近では地元のボランティア団体「松原を良くする会」の一員として清掃活動にも参加。松の樹勢が弱っているように見え、それが気になっていたという。

一昨年、日本緑化センター(東京)に全国各地の松原の再生計画づくりを支援する制度があることを知り、応募。250万円の助成金がもらえることになり、昨年、専門家や住民に呼びかけて再生計画策定委員会を発足させた。現地調査をし、松くい虫やシロアリの被害、不適切な植林による過密化、枝枯れなどが広がっている実態を確認。津田地区の全戸に意識調査も実施した。その結果、津田の松原を月1回以上訪れている住民は3分の1にとどまるという現状が浮き彫りになった。小中高校の児童・生徒を対象にした調査でも、年齢が上がるほど足が遠のくことがわかった。再生計画委で事務局を担当した鶴身さんは「松原は遊んだり、松ヤニや松露、薪を採取したりする生活の場でもあったのに、住民の出入りが減って間伐がおろそかになり、荒廃が進んだ。ここも例外ではなかった」と指摘する。

このため、保全の担い手としてのボランティアの重要性を感じている。とくに若い世代に対し、「松原の素晴らしさを小さい時から知り、大事にしてもらいたい」と訴える。まとめた再生計画には、1本ずつ樹木台帳をつくること、適切な間伐、ボランティアの育成、環境学習などを盛り込んだ。

委員長を務めた増田拓朗・香川大工学部長は「行政ができるのは防除や植栽、間伐計画づくりまで。実際の間伐や落ち葉かきは住民が担っていくしかないだろう」と話し、住民主体の活動に期待している。

報告会は、午後1時半から津田公民館である。増田委員長の講演の後、住民や樹木医らが再生のあり方を議論する。(細川治子)

(2012年05月12日朝日新聞 朝刊 香川全県・1地方)

# 津田の松原



# 津田の松原



<http://www.shikoku.gr.jp/index.php?cID=12549> 巡るめぐ四国

# 新聞記事の要約



- ◆ 日本の白砂青松100選に選ばれているさぬき市の「津田の松原」の衰退が懸念されている。
- ◆ 日本の松原再生を支援する制度を使って250万円の助成金を受け活動中。
- ◆ 実態として松くい虫被害、不適切な植林による過密化、枝枯れなどが広がっている現状があり、ボランティアの活動が期待されている。

# 問題点



- ◆ もともとは石清水八幡宮の燃料兼防砂林として植えられた松原である。失われることによって、貴重な景観が失われ観光客の減少が予想される。
- ◆ 防砂林・防風林としての役割を失い、海沿いの住人に被害が生じる。

# 現状と問題



松林の手入れを行ってこなかったため、松くい虫による被害が広がり、一方で過密化も起きている。

自治体としては、生きている木を伐る（間伐）より先に松くい虫の影響で枯れている木を伐りたい（伐倒）が、**手間がかかる上、処理費用がまかないきれない。**

**伐倒費用が足りない！！**

# 政策提言

---



**先に間伐を行い、  
得た利益で伐倒を行う**

# 言葉の定義



## 間伐

松の過密地域において生きている木を伐ること

間伐した木材は木工品の原材料として利用できる

## 伐倒

松くい虫の被害にあった枯れた木を伐ること

伐った後粉砕する必要がある、業者でないといけづらい

# 政策提言の概要



1. 初期費用は自治体で負担し、ボランティア団体による間伐を促す。
2. 間伐で得た木材を木工品（特産品）の作り手に無料で提供する。
3. 木工品の売り上げの一部を自治体（とボランティア団体）に還元する。
4. 還元された利益をもとに、枯れた木の伐倒を自治体主導で行う。

# 政策提言の概要



## ボランティア団体

白砂青松の名勝として日本の渚・百選にも選ばれている松林を守りたい!

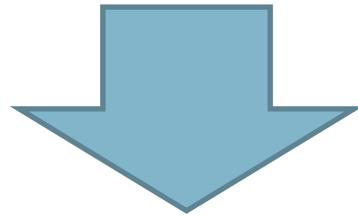
## 木工品の作り手

松が枯れて減ってしまうと、特産品が作れなくなってしまう…。





- ◆ 1.初期費用は自治体で負担し、ボランティア団体の松の伐採を促す。



ボランティア団体（松原を良くする会）が伐採を行うことにより、伐採にかかる人件費が

**無料！**



- ◆ 2.伐採、間伐で得た木材を木工品（特産品）の作り手に無料で提供する。



材料がタダで手に入るので、販売数（作成数）の増加が見込める。

つまり、**雇用の増加**を生む！！

また、安く仕入れることにより、より安価で販売することが可能になる。

つまり、**需要**が見込める！！

# 木工品



<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/12586.html> 肥松木工品  
(高松市公式ホームページ)



- ◆ 3.木工品の売り上げの一部を自治体（とボランティア団体）に還元する。



自治体はここで得られた資金をもとに枯れたマツを伐倒。→ **マツが枯れる原因をなくす**

松原を良くする会は活動資金を得ることができる。→ **ボランティア活動の増加**

# 費用の試算(間伐)



- ◆ 間伐にかかる人件費・・・0円
- ◆ 間伐に必要な初期費用

チェーンソー 5万円 × 2 = 10万円

クレーン付きトラック(レンタカー)

2万1000円 × 5日間 = 10万5000円

燃料費

1日当たり 353円(3.1ℓ)/1h × 11h + 3000 = 6383円

6383円 × 5日間 = 31915円

合計23万6915円で間伐することができる！！

# 費用の試算(伐倒)



- ◆ 自治体による業者委託  
1本当たり2万円程度
- ◆ 伐倒が必要な枯れマツ(平成23年度):49本  
2万円×49本=98万円

合計98万円で伐倒することができる！！

# 収入の試算



- ◆ **最後に収入を考える。**
- ◆ **1本でどれだけ作れるか。**

1本の松につき使える木材の平均体積を0.25立米とし、  
100cm × 50cm × 50cmと同じ体積と仮定する。

お茶碗を作るのに10cm × 10cm × 10cm必要だとすると、  
1本あたり250個作ることができる。

# 収入の試算



- ◆ 一ついくらか。

相場として漆塗りのお茶碗は1個1000円だが、特別規格として500円とする。

- ◆ 一本当たりいくら収入か。

250個 × 500円 = 12万5000円

# 収入の試算



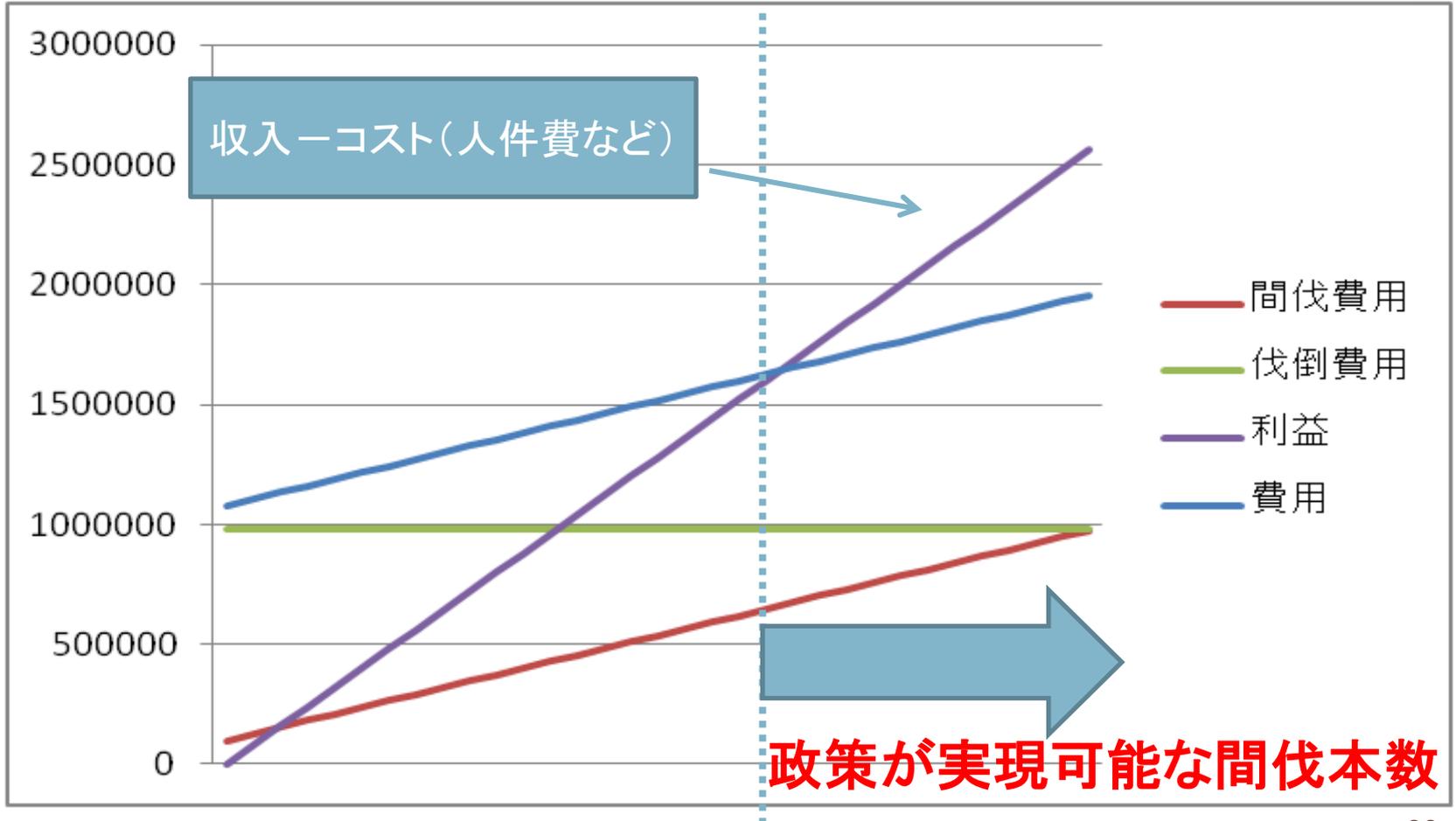
◆ 全体ではいくらか。

ボランティア団体の規模から、1日に伐採できる松は10本程度と仮定する。

12万5000円 × 10本 × 5日間 = **625万5000円**

実際には別なものも作ると考えられ、木工品全部が売れたとしてもこの通りにはならないが、それなりの経済効果が見込めると言える。

# 利益を考える



# 利益を考える



- ◆ 景観を維持するうえで間伐できる最大本数は **900本** ( $3000 \times 0.3$ )
- ◆ 間伐本数を $X$ 、松1本から木工品を作る時のコストを $C$ とおくと、  
利益 =  $(125000 - C)X$   
費用 =  $1080000 + 2738.3X$

$X \leq 900$ となるためには、 **$C \leq 121061.7$** を満たす必要がある。

# メリット・デメリットまとめ



## ◆ メリット

松林の保護だけでなく、地域の活性化も図られる。  
特産品の知名度が上がることで観光客が増える。  
ボランティアにも資金がわたるので継続しやすい。

## ◆ デメリット

実際にどのくらいの利益が上げられるかはわからない。

利益が出るまでに時間がかかる。

# 参考文献



- ◆ 香川県さぬき市ホームページ  
<http://www.city.sanuki.kagawa.jp/index.php>
- ◆ 林野庁ホームページ/松くい虫被害  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/higai/matukui.html>
- ◆ 財団法人 日本緑化センター  
<http://www.jpgreen.or.jp/>
- ◆ 白砂青松百選  
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hiromi.naka/sirasuna/hyousi/sirasuna.htm>
- ◆ 石清水八幡宮  
<http://www.shinmeiden.co.jp/01guide/index.html>
- ◆ Rental guide book 産業機械  
[http://www.rent.co.jp/icons/sanki/contents/19data/crean\\_eco.htm](http://www.rent.co.jp/icons/sanki/contents/19data/crean_eco.htm)
- ◆ トラックレンタル  
[http://truck.orix.co.jp/truck/source/r\\_kr.html](http://truck.orix.co.jp/truck/source/r_kr.html)
- ◆ 天橋立 景観まちづくり通信  
<http://www.pref.kyoto.jp/hashidate-model/resources/v3.pdf>
- ◆ もっと高松 肥松木工品  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/12586.html>
- ◆ 森林研究所  
[http://www.pref.okayama.jp/norin/ringyo/kenkyu\\_seika/bunya/seisanhi\\_teigen2.htm](http://www.pref.okayama.jp/norin/ringyo/kenkyu_seika/bunya/seisanhi_teigen2.htm)